

## 1. 業務名

ブラックカーボンおよびメタンの人為起源排出量推計の精緻化と削減感度に関する研究

## 2. 所属

(ユニット名) 地球環境研究センター

(室名) 地球大気化学研究室

## 3. 募集人数

1名

## 4. 業務の内容

本研究室では、地球環境変動に関わる大気微量気体やエアロゾルの先端計測技術の開発、それを用いた広域規模での動態把握と変化機構の解析、および大気圏を中心として海洋生態系や陸域生態系との物質循環や相互作用の解明を行うことを目的として、グローバルな大気化学研究を国際的なフレームワークで推進している。

対流圏オゾンとブラックカーボンといった短寿命の反応性ガスやエアロゾルは **SLCP** (Short-lived Climate Pollutants) と呼ばれ重要性が再認識されてきているが、大気中収支や気候影響の定量的理解が遅れている。本研究では、パリ協定の「2°C目標」達成のために重要な **SLCP** として、ブラックカーボン (BC) とメタン (CH<sub>4</sub>) を対象とし、アジア排出量推計の精緻化、削減感度の評価、社会経済的な分析を重点的に行う。特に、タグ付き全球化学輸送モデルを発展させ、我が国を含むアジア起源の排出量を推計するとともに検証する。高度化された排出データと化学輸送・気候モデルを用いて、アジアの発生源別に、大気加熱効果や海水・雪氷面への沈着を通じた温暖化加速効果を評価する。これをもとに、IPCC、北極評議会、CCACなどに科学的知見を提供する。

## 5. 必要とされる専門分野及び資格

- (1) 採用の時点で博士号または修士号を取得していること。
- (2) 化学 (大気化学、地球化学)、地球物理学 (大気物理学、気象学等)、生物地球化学 (地球科学、物質循環学等)、環境学 (環境科学、環境工学等) などの学問を修めたこと。
- (3) 大気観測、モデル開発・利用、衛星データ利用のうちいずれかの技術経験があること。

## 6. 選考方法

書類審査の後、面接を行い決定する。面接を行う者には別途連絡をする。

## 7. 提出書類

- (1) 履歴書 (写真添付、[所定の様式](#)を使用) 1部
- (2) これまでの研究概要 (A4判2枚程度) 1部
- (3) 研究業績目録 (原著論文、著書、総説・解説、口頭発表別に記載) 1部

- (4) 主要研究論文の別刷りまたはコピー（5編以内）各1部
  - (5) 研究内容に対する抱負・科学者としての抱負（A4判2枚程度）1部
  - (6) 所見を求めうる方2名の氏名および連絡先 1部
- （応募書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任を持って処分します。ただし、不採用の場合に応募書類の返却を希望する場合は、応募時に返信用封筒を同封して下さい。））

なお、履歴書の職歴欄には、これまでの雇用先、雇用期間等を正確に記載して下さい。

また、国立環境研究所との間に雇用契約以外の契約・委嘱等の関係（共同研究、研究協力、労働者派遣、請負常駐等）がある場合は、その旨も記載して下さい。

## 8. 応募方法

郵送による。

（封筒に朱書きで「大気化学モデル研究 応募書類」と記載すること。）

## 9. 応募締切

随時受付、ただし適任者が見つかれば次第締め切ります。

## 10. 待遇等

（職種）特別研究員または准特別研究員

（雇用形態）フルタイム

（1日の勤務時間）7時間45分

（時間外及び休日勤務の有無）有

（給与）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員給与規程」に基づき支給する。

基本給（日給）： 准特別研究員 13,100円より

特別研究員 14,960円より （規程に基づき決定）

（その他就業関係）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員就業規則」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

## 11. 採用予定時期

採用決定後のなるべく早い時期。

## 12. 雇用期間

採用日より平成31年3月31日まで。

なお、研究所の事業計画、勤務実績等の状況により平成35年3月31日（最長更新限度）までの間に限り、年度単位での更新があり得る。

13. 問い合わせ及び書類提出先

国立研究開発法人国立環境研究所

(住所) 〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

(ユニット名) 地球環境研究センター

(室名) 地球大気化学研究室

(氏名) 谷本 浩志

(TEL) 029-850-2930

(E-mail) tanimoto (半角で@nies.go.jp を付けてください。)

14. 公募番号

H30-研-029